

講義名	グローバル経営基礎			授業形態	
担当教員	今西 珠美	開講期・曜日・時限	前期 金曜日 4 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生
				ナンバリング・コード	MAN241
主題と概要					
【主題】 企業の国際的な経営活動に焦点を当てる「グローバル経営」という学問分野の基礎知識と主要理論、研究領域について理解する。 【概要】 前半（1～10回）は主にグローバル経営にかかわる基礎知識と主要理論を時代背景を踏まえながら捉え、後半（11～15回）はグローバル経営を実践する上で直面する諸相を知ることによってグローバル経営が内包する専門領域を捉えていく。全体を通して、国際的に事業を展開する企業や組織のマネジメントの仕組みや経営行動について、経営理論に基づき自ら考え、理解できるようになるための基礎を作っていく。					
到達目標					
グローバル経営に関する基礎知識とその研究領域について広く理解し、将来、国際的な舞台で活躍し、社会に貢献できるような人材になるための基礎を築く。					
提出課題					
課題を提示する場合がある。					
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法					
授業時や解答例を提示する際に講評する。					
評価の基準					
学習成果（理解度）と学習意欲・学習態度を評価する。 出欠はとらず、定期試験および取り組み姿勢、理解度を評価する。 定期試験（85％）、学習意欲・学習態度（15％）を予定している。					
履修にあたっての注意・助言他					
教科書は必須である。授業時には手元にあるようにしてください。 本授業では録画、録音、写真撮影を禁止する。					
教科書					
『コア・テキスト 国際経営』		大木清弘	新世社	2750	9784883842667
参考図書					
なし。					

その他

浅川知宏『グローバル経営入門（新装版）』日経BP（日本経済新聞出版本部）、2022年。
井上真理編『グラフィック グローバルビジネス』新世社、2020年。
江夏健一・桑名義晴編『理論とケースで学ぶ国際ビジネス（第4版）』同文館出版、2018年。
中川功一・林正・糸田知美・大木清弘『はじめての国際経営』有斐閣（有斐閣ストゥディア）、2015年。
安斎一監修・山本之山・山内隆英編『企業者の国際ビジネス入門』日経書房、2019年。
吉原英樹『国際経営論（第5版）』有斐閣（有斐閣アルマ）、2021年。

授業計画

文字数の制約から第2回以降の予習内容と復習内容については簡素な形で記載している。第1回の予習と復習の項目を参考にしてください。

第1回 国際経営の基礎知識
【予習（120分）】
教科書の第1章を読む。 キーワードと気になる語について調べる。
図表にあるデータの近年の状況調べる。 教科書を読み理解できなかった点や疑問を書き留める。
【復習（120分）】
キーワードをそれぞれ120字程度で記し説明できるようにする。 キーワード間のつながりを考える。
章全体を再読して学習内容を再確認し、予習時の理解不足や疑問を解決する。

第2回 多国籍企業の歴史
【予習（120分）】 教科書の第2章を読む。 - は前回と同じ。
【復習（120分）】 前回の - に同じ。

第3回 海外直接投資
【予習（120分）】 教科書の第3章を読む。 - は前回と同じ。
【復習（120分）】 前回の - に同じ。

第4回 グローダット・サイクル仮説と優位性の移転
【予習（120分）】 教科書の第4章を読む。 - は前回と同じ。
【復習（120分）】 前回の - に同じ。

第5回 多国籍企業の組織デザイン
【予習（120分）】 教科書の第5章を読む。 - は前回と同じ。
【復習（120分）】 前回の - に同じ。

第6回 トランスナショナルな組織
【予習（120分）】 教科書の第6章を読む。 - は前回と同じ。
【復習（120分）】 前回の - に同じ。

第7回 国際的な活動の配置と調整
【予習（120分）】 教科書の第7章を読む。 - は前回と同じ。
【復習（120分）】 前回の - に同じ。

第8回 海外子会社論
【予習（120分）】 教科書の第8章を読む。 - は前回と同じ。
【復習（120分）】 前回の - に同じ。

第9回 グローバル・イノベーション論
【予習（120分）】 教科書の第9章を読む。 - は前回と同じ。
【復習（120分）】 前回の - に同じ。

第10回 国際パートナーシップ
【予習（120分）】 教科書の第10章を読む。 - は前回と同じ。
【復習（120分）】 前回の - に同じ。

第11回 国際マーケティング
【予習（120分）】 教科書の第11章を読む。 - は前回と同じ。
【復習（120分）】 前回の - に同じ。

第12回 国際生産
【予習（120分）】 教科書の第12章を読む。 - は前回と同じ。
【復習（120分）】 前回の - に同じ。

第13回 国際研究開発
【予習（120分）】 教科書の第13章を読む。 - は前回と同じ。
【復習（120分）】 前回の - に同じ。

第14回 国際的なサプライチェーン・マネジメント：調達と製造統合
【予習（120分）】 教科書の第14章を読む。 - は前回と同じ。
【復習（120分）】 前回の - に同じ。

第15回 国際人的資源管理
【予習（120分）】 教科書の第15章を読む。 - は前回と同じ。
【復習（120分）】 前回の - に同じ。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

国際的な経営の仕組みやグローバルに事業を展開する組織の行動について、経営理論に基づき、自ら考え、理解できるようになるための基礎を作る。国際的なマネジメントに関わる専門基礎知識を習得し、それに基づいてグローバルな経営活動について状況分析を行い、課題や改善策を提案できるようになる。将来、国際的な舞台で活躍し、社会に貢献できるような人材になるための力をつける。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業中に問いかけるので反応してください。また、授業時間内だけでなく、ウェブも活用して質問や意見を受け付けするなど、コミュニケーションを図っていきたいと考えている。

実務経験の有無及び活用

実務経験なし

備考